

島根県の小規模な県立高校について

1 県立高校（全日制）の配置状況

- (1) 直近の再編計画策定時期 平成 21 年 2 月
(平成 28 年 4 月～ 県立高校の在り方検討委員会)
- (2) 望ましい学級規模 1 学年 4～8 学級
- (3) 学級規模別学校数

学級規模	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全学校数	1校平均
学 校 数	1	8	7	9	2	3	3	1			34	3.9

2 小規模校の状況 (平成 29 年度現在)

(1) 1 学級校 (1 校)

校名	学科・学級数	募集定員	合格者数 (H29)	最寄りの高校との関係 (※)			特記事項
				高校名	移動手段	所要時間	
吉賀高校 (吉賀町)	普通1	40	37	津和野高校 (津和野町)	バス 電車	約70分	寄宿舎あり

※「最寄りの高校」は、同一学科がある高校
「所要時間」とは、当該校が廃止された場合、その高校から最寄りの高校までの移動時間
(このため、通学時間が所要時間を上回る生徒がいる。)

(2) 2 学級校 (8 校)

校名	学科・学級数	募集定員	合格者数 (H29)	最寄りの高校との関係 (※)			特記事項
				高校名	移動手段	所要時間	
津和野高校 (津和野町)	普通2	80	77	吉賀高校 (吉賀町)	バス 電車	約70分	寄宿舎あり
浜田商業高校 (浜田市)	商業2	80	74	出雲商業高校 (出雲市)	電車	約120分	
浜田水産高校 (浜田市)	水産2	80	50	隠岐水産高校 (隠岐の島町)	フェリー 電車・バス	約345分	寄宿舎あり
江津高校 (江津市)	普通2	80	75	浜田高校 (浜田市)	電車	約40分	
江津工業高校 (江津市)	工業2	80	70	出雲工業高校 (出雲市)	電車	約130分	寄宿舎あり
飯南高校 (飯南町)	普通2	80	62	島根中央高校 (川本町)	電車 バス	約220分	寄宿舎あり
隠岐島前高校 (海士町)	普通2	80	64	隠岐高校 (隠岐の島町)	フェリー	約110分	寄宿舎あり
隠岐水産高校 (隠岐の島町)	水産2	80	45	浜田水産高校 (浜田市)	フェリー 電車・バス	約345分	寄宿舎あり

(3) 3 学級校 (7 校)

校名	学科・学級数	募集定員	合格者数 (H29)	最寄りの高校との関係 (※)			特記事項
				高校名	移動手段	所要時間	
矢上高校 (邑南町)	普通2 産業技術1	90	89	島根中央高校 (川本町)	バス	約45分	寄宿舎あり
				江津工業高校 (江津市)	バス 電車	約130分	
邇摩高校 (大田市)	総合3	120	97	三刀屋高校 (雲南市)	電車 バス	約125分	
島根中央高校 (川本町)	普通3	90	79	矢上高校 (邑南町)	バス	約45分	寄宿舎あり H19の再編統合校
情報科学高校 (安来市)	情報3	120	107	松江商業高校 (松江市)	電車 バス	約50分	
大東高校 (雲南市)	普通3	120	111	松江南高校 (松江市)	電車	約70分	H27年度に1学級減
横田高校 (奥出雲町)	普通3	120	91	大東高校 (雲南市)	電車	約95分	寄宿舎あり H26年度に1学級減
隠岐高校 (隠岐の島町)	普通2 商業1	90	74	隠岐島前高校 (海士町)	フェリー	約110分	寄宿舎あり
				松江商業高校 (松江市)	フェリー 電車・バス	約220分	

○ 県立高等学校再編成基本計画（平成 21 年度～平成 30 年度）

【今後の再編成のあり方】

1. 基本的な考え方

- ・本県は東西に長く、多くの中山間地域を有するため、高校の配置を検討するにあたっては通学事情なども勘案しながら高校教育の機会均等を図る。
- ・小規模化が進む中山間地域の高校は、生徒数の推移によっては、存続の可否について検討しなければならない状況にある。
- ・このため、学校活性化の方策などについて、各地域においても具体的な議論が必要である。（※）

2. 高校の統廃合基準

- ・1 学年 2 学級の学校の入学者数が定員の 5 分の 3 を 2 年連続下回るが見込まれる場合は、存続か、統合を検討する。
- ・その際には、高校教育の機会均等などの観点から、1 学年 1 学級の学校としての存続のあり方をあわせて検討していく。
- ・1 学年 1 学級の学校の在籍生徒数が収容定員の 5 分の 3 に満たず、将来にわたって生徒数が増加する見通しが立たないと見込まれる場合、募集停止か、統合を検討する。

※ 離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業

1. 趣旨

離島・中山間地域の高校において、魅力と活力ある高校づくりを推進するため、高校と町村が連携して実施する高校魅力化・活性化への取組みを支援する。

2. 概要

① 高校・地域が行う魅力化・活性化の取組みへの助成

例：広報活動の充実、特色ある教育活動（国際交流など）、学力強化

② 魅力化、活性化の推進支援

例：県外生徒募集の説明会、高校見学バスツアーなど